

ZEISS 独自の光学技術で 幅広い患者に対応

ZEISS CT LUCIA 621P



**ZEISS の CT LUCIA は、ZEISS 白内障治療ポートフォリオにおける
日本初の疎水性アクリル非球面単焦点眼内レンズです。**

良好な安定性と直感的なインジェクターシステム、そして偏心に柔軟に対応する設計により、幅広い患者や手術状況において、安定した視機能成績*をもたらします。

メリット：

- 特許取得の ZEISS Optic (ZO) の非球面コンセプトによる**安定した視機能成績***
- ユニークな光学 - 支持部接合構造と Step vaulted C ループ支持部による**良好な安定性**
- 完全プリロードシステムによる、**直感的なインジェクター操作**

*データはシミュレーションから取得したものです。このようなシミュレーションの結果が、実際に眼内レンズを挿入された患者に適用可能であるかどうかは、現時点では科学的に証明されていません。シミュレーションによる視覚的印象が実際の視覚的印象と一致するかどうかは、今後の臨床評価で確認する必要があります。

販売名：CT LUCIA 621P 単焦点眼内レンズ
承認番号：30700BZX00305000

カールツァイスメディテック株式会社
〒102-0083
東京都千代田区麹町二丁目10番9号
TEL: 0570-021311
FAX: 03-5214-1251
<https://www.zeiss.co.jp/med>

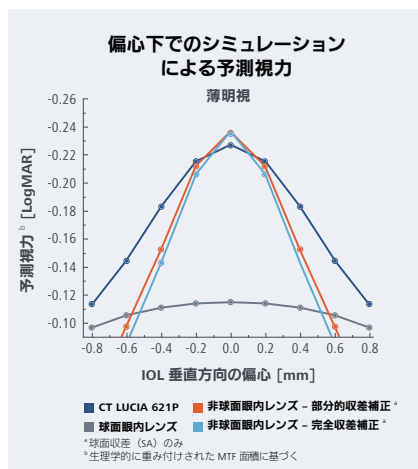


Seeing beyond

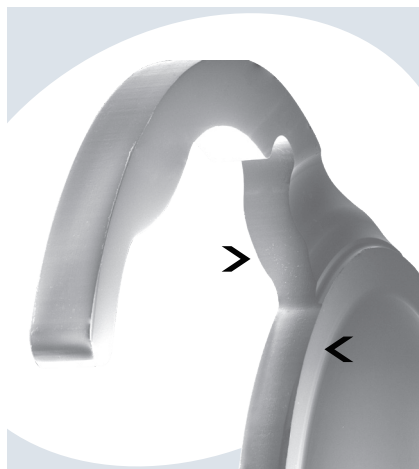


3つの主要な利点

安定した視機能成績*



良好な安定性



直感的なインジェクター操作



ZEISS 光学設計

ZEISS CT LUCIA 621P に採用された技術である ZEISS Optic (ZO) 非球面コンセプトは、様々な角膜形状やレンズ位置に起因する広範囲の収差を補正するように設計されています。独自の柔軟性の高い設計により、幅広い患者や手術状況において良好な視機能成績をもたらします。

光学-支持部接合構造 - 屈折安定性を確保する設計

Step vaulted 構造の C ループ支持部との組み合わせにより、水晶体嚢との直接的な接触が増し、センタリングが容易になります。これにより安定性が確保され、水晶体嚢内における眼内レンズの軸方向位置が常に安定して維持されます。

強化された設計 - 手術ワークフローの簡素化を実現

ZEISS CT LUCIAのプリロードインジェクターシステムの設計は、扱いやすさと直感性を高めることを目指しました。これにより、手術のワークフローが簡素化され、準備プロセスがスムーズになり、レンズが容易に効率よく挿入できるようになりました。

テクニカルデータ



CT LUCIA 621P - プリロードシステム

光学設計	単焦点、非球面（収差補正）
材質	疎水性アクリル（ヘパリンコーティング ^① ）
光学部径	6.0 mm
全長	13.0 mm
支持部形状	Step vaulted
レンズデザイン	シングルピース、C ループデザイン
切開サイズ	2.2 ～ 2.6 mm（IOL 度数による）
度数範囲	0.0 D ～ +34.0 D、0.5 D ステップ
A 定数 ^②	120.2
ACD ^②	6.29
アッペ数	51
屈折率	1.49
挿入部位	後房
インジェクター／カートリッジセット	BLUESERT 2.2 インジェクター（度数範囲 0.0 ～ +24.0）
	BLUESERT 2.4 インジェクター（度数範囲 +24.5 ～ +30.0）
	BLUESERT 2.6 インジェクター（度数範囲 +30.5 ～ +34.0）

^① IOL 表面のコーティングに使用され、薬理作用、免疫作用、代謝作用はありません。

^② 挿入するレンズの度数は、術者の経験、手術手技及び意図するレンズの配置に基づき、術前に決定してください。上記および外箱ラベルに記載されている A 定数は参考値であり、必要なレンズの度数を計算するための初期値として利用できます。医師は、臨床経験、手術手技、測定機器、術後の結果に基づいて、独自の A 定数を設定する必要があります。レンズ度数の計算方法は主要文献 3 に記載されています。

Stopyra, W.^③ Langenbucher, A. & Grzybowski, A. Intraocular Lens Power Calculation Formulas—A Systematic Review. Ophthalmol Ther12, 2881–2902 (2023)